

永代経・平和の集いをお勤めします

最近、焚き火をしたことがありませんか？ 私が子どもの頃は、大人が落ち葉を燃やしたり、一斗缶に薪をくべて暖を取ったりしているのをよく見かけました。現在は、屋外で火を燃やすことが難しくなり、あまり見ることがなくなりました。

お湯を沸かして私たちの生活を豊かにしてきたのです。だからこそ、昔から、焚き火を囲んでおしゃべりをすることで、お互いの心と心を通わせ合ったのかもしれない。

ところが、最近になって焚き火が見直されているのだとか。何故かといえば、焚き火は人を惹きつけ会話を弾ませるのだそうです。アウトドアのお店に行くとお洒落で安全な焚き火台が売られていて、結構なお値段がするの

お釈迦さまの前世の物語に「ウサギの教え」という話があります。

でビックリします。考えてみると、人類が火を使うようになって以来、数千年にわたって焚き火は、暗闇を照らす明かりとなり、暖かさを作り出し、

「私には差し出すものがありません。どうぞ私を焼いて食べてください」と言い残して火の中に飛び込みました。実は、その老人は帝釈天で、うさぎの行動に感動し、火から救い出し、その尊い行いを後世まで伝えるために、ウサギの姿を「月」へと昇らせました。

私たちは、仏さまのみ教えを「心のともし火」として暮らしていきたいものです。悲しいことに、今、火は「爆弾」という兵器となって、世界を脅かしています。戦争のない未来を願って、秋季永代経にあわせて平和の集いをお勤めします。みなさま、どうぞお参りください。



（住職）

6月(水無月)

二一日(日) お講 十一時

二五日(木) 山科二十五日講

二七日(土) 幕吊り・お花立て

(役員・年行司)

十三時

二八日(日) 永代経 別掲

秋季永代経 平和の集い

6月28日(日) 13時

お取次 住職

どうぞ皆さま、お参りください。

くらしの仏教用語

大袈裟(おおげさ)

「あなたの言うことは大袈裟だ」などと、実際よりも誇張することを大袈裟と言います。袈裟とは、文字通り僧侶が衣の上に身につける法衣のことなので、大袈裟とは大きな袈裟のことを指します。

袈裟には、普段のお勤めで身につける簡易的な輪袈裟や、法事などで着る五条袈裟、報恩講や葬儀の際に着る七条袈裟などがあります。浄土真宗では七条袈裟が一番格式高く、大きい袈裟です。他宗派にはさらに

九条袈裟や二十五条袈裟なんて言うのもあるそうです。七条袈裟でも自分一人で身につけることができないうのに、二十五条って一体どうなっているのかと思ってしまう。

現代社会は、何でも大袈裟に言うて「バズる」ことが風潮となっていて、スマホに次々と表示されるショート動画でも「美味し過ぎる」とか「衝撃の事実」とか、「全米が泣いた」とか、これ以上誇張する言葉がないほどです。

私たちは、少し冷静にそして正直に、ほどほどの中袈裟くらいがちょうど良いのかもしれない。

◆6月はプライド月間◆

プライドとはLGBTQなどの人たちの尊厳を大切にすること。プライド月間のきっかけは1969年6月28日にニューヨークで起きた出来事でした。「ストーンウォール・イン」というバーに集っていたLGBTQの人たちが、警察の度重なる不当な摘発に抵抗し、数日間わたる大規模な運動へと発展したのです。この出来事を記念し、翌年の6月28日、当事者たちが自らの権利と尊厳を訴えるために大規模なデモ行進を行いました。やがて世界中に「プライド月間」となって広がっていきました。

6月の掃除当番は、林幸治さんです。お世話様ですがよろしくお参りいたします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ



世界お寺めぐり

岩間寺(大津市)

瀬田川畔から山道をぐんぐん登っていった滋賀県と京都府宇治市の府県境の山上に岩間山正法寺(通称・岩間寺・いわまであら)があります。お寺の駐車場に車を停めて歩いて行くと、すぐに静かな境内が現れ、標高450メートルの人里離れたこんな山奥に、いったいどうやって建てたのだろうかと思うような素敵なお堂がありました。ご本尊の千手観音さまは秘仏だそうで、なんでもこの観音さまは、毎夜日没とともにお堂を抜け出し世界を飛び回って多くの人を救済し、夜明け前に戻ってこられた時に汗びっしょりだったことから「汗かき観音さま」と呼ばれているのだとか。



本堂の脇には松尾芭蕉が立ち寄ったとされる小さな池もあり、有名な

「古池や 蛙飛び込む 水の音」

の句碑がありました。このお寺は、かつて、京都の醍醐寺から巡礼の道が繋がっていたそうで、芭蕉も険しい道を歩いてここに辿り着いたのかもしれない。美しい景色と、木々の間を抜ける涼風を受けて、俳句を詠んだのでしよう。

ところで境内には小さな「うどん屋さん」があります。メニューを見ると他にもキーマカレーとかキノコご飯もあるようです。ちょうどお腹が空いていたので早速入店。山の上でいただくうどんは格別に美味しく、とても幸せな気分でした。



住職の星空案内

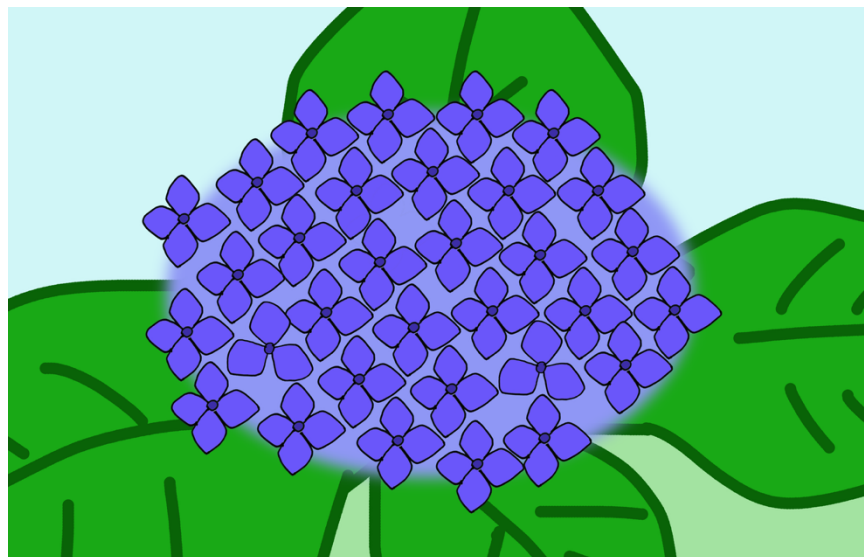


5月下旬を過ぎると、夜半には夏の星座が続々と昇ってきます。夏の夜空は明るい星が多いことに加え、天の川が流れているので、とても賑やかです。特に南の空の「さそり座」や「いて座」の方向は、天の川が一番太くて濃い部分なので、見どころ満載です。

右の写真の左端に写っている黄色い星は、さそり座のアンタレスという一等星です。星は、生まれた頃は青く、歳をとるとだんだんと黄色くなって巨大化し、最後に爆発して終わりを迎えます。老人星のアンタレスも直径が太陽の700倍と言う大きさだそうです。その右側にある星の集まりはメシエ4という球状星団。他にも小さな球状星団や宇宙のガスが星の光に照らされて複雑に輝いています。

くずくイズクイズ

6月。あちこちで、アジサイの花が咲き始めましたね。あれれ、よく見ると三つ葉のアジサイの花があるよ。さて三つ葉のアジサイはいくつあるかな？



先月号の答え

